



平成 20 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 A O K I ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 青木 拓 憲
 (コード番号 8214 東証・大証第一部)
 問合せ先 専務取締役 中村 憲 侍
 (TEL 045-941-4888)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正等いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値との差異(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,250	1,630	2,000	740	15.93
今回実績(B)	58,803	1,145	1,616	121	2.63
増減額(B) - (A)	446	484	383	618	
増減率(%)	0.8	29.7	19.2	83.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	57,063	3,237	3,547	1,470	32.71

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	136,850	12,600	13,300	6,100	131.28
今回修正予想(B)	132,300	8,300	9,000	3,000	64.52
増減額(B) - (A)	4,550	4,300	4,300	3,100	
増減率(%)	3.3	34.1	32.3	50.8	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	130,653	12,561	13,031	5,595	124.66

修正等の理由

1. 第2四半期累計期間

- (1) 売上高は、ファッション事業において、米国から端を発した金融不安が世界的な広がりを見せるなか、ガソリンや食材価格の相次ぐ値上がり、8月下旬の気温の低下や週末の雷雨等の悪天候などにより消費マインドが低下し、客数、客単価がともに伸び悩み、夏物衣料が全般的に減少したことで既存店売上高(AOKI+ORIHICA)は前年同期比 98.1%となりました。
- (2) 営業利益及び経常利益は売上高の減少の他、販売費及び一般管理費は概ね予定どおり推移いたしましたが、売上総利益率が伸び悩み計画に対して 0.4 ポイント低下いたしました。
- (3) 当期純利益は経常利益の減少の他、子会社で一部繰延税金資産の取崩しにより税金費用が増加することとなりましたので、それぞれ上記のとおり差異が発生いたしました。

2. 通期

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績をベースに、最近の厳しい景気動向等を踏まえ、特に景気動向の影響を受けやすいファッション事業及びエンターテインメント事業の第3四半期以降の業績について、10月度の数値や足元の状況に基づき、売上高(ファッション事業(AOKI+ORIHICA)の既存店前年同期比下期93.5%、通期95.4%)、売上総利益率や販売費及び一般管理費等を慎重に見積もった結果、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上